

製品名: MARK1/2/3/4 (リン酸化 Thr215) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04977

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC, IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	MARK1/2/3/4
別名	MARK1; KIAA1477; MARK; Serine/threonine-protein kinase MARK1; MAP/microtubule affinity-regulating kinase 1; PAR1 homolog c; Par-1c; Par1c; MARK2; EMK1; Serine/threonine-protein kinase MARK2; ELKL motif kinase 1; EMK-1; MAP/microtubule affin
遺伝子 ID	4139/2011/4140/57787
SwissProt ID	Q9P0L2/Q7KZI7/P27448/Q96L34
免疫原	抗血清は、Thr215 のリン酸化部位周辺のヒト MARK1/2/3/4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

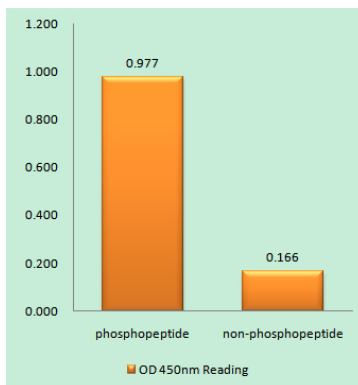
背景

触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: STE20 関連アダプターアルファ (STRAD アルファ) 擬似キナーゼおよび CAB39 との複合体における STK11 による Thr-215 のリン酸化によって活性化されます。機能: 細胞骨格の安定性に役割を果たす可能性があります。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MARK サブファミリー。類似性: KA1 (キナーゼ関連) ドメインを 1 つ含みます。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含みます。類似性: UBA ドメインを 1 つ含みます。細胞内位置: 細胞内ネットワークに局在すると思われる。組織特異性: 心臓、骨格筋、脳、胎児脳、胎児腎臓で高度に発現します。触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: STE20 関連アダプターアルファ (STRAD アルファ) 擬似キナーゼおよび CAB39 との複合体における STK11 による Thr-215 のリン酸化によって活性化されます。機能: 細胞骨格の安定性に役割を果たす可能性があります。類似性: MARK サブファミリー。類似性: KA1 (キナーゼ関連) ドメインを 1 つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。類似性: UBA ドメインを 1 つ含む。細胞内局在: 細胞内ネットワークに局在すると思われる。組織特異性: 心臓、骨格筋、脳、胎児脳、胎児腎臓で高発現している。

研究分野

微小管ダイナミクスの制御

画像データ



MARK1/2/3/4 (リン酸化 Thr215) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)